

「前文」に盛り込むべき内容の整理（第2班 2/7版）

周辺の自然環境	* 隅田の流れ
区の地理	* 忍ヶ岡（「上野」よりも味のある言葉として）
区の歴史	* 昔ながら * 下町情緒 * 先人の知恵
誇るべき点	* 暮らしやすい
制定の事情	<p>時代を反映させ、訴求力のある言葉として「もったいない」などを含めた意味で「持続可能な未来を」を表現し、特に古いものを守るだけでなく新しいものを創造するという面も出したい。</p> <p>他区でもこういった表現はまだ大々的にされていないので先進的な事例としてとりあげられる。</p>
区民憲章の意義	<p><u>江戸から受け継いだ「粋」の心を時代につなぐため、ここに区民憲章を制定します。の一文を前文に盛り込む。</u></p> <p>「粋」は会議示されたキーワードの上位概念と整理されるため、これは本文ではなく、前文で制定の意義として表現することでより強く打ち出せる。また、これにより本文のキーワードがよりわかりやすくなる。</p> <p>「粋」と関連して会議で具体的に示されたことばは、</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自分より先に相手のことを想う心 * 心意気 * コツコツと、頑固に * ファイト
その他	<p>周辺の自然環境、区の地理、区の歴史、誇るべき点は、主に台東区の歌で謳われているので、台東区の歌と台東区民憲章を同時に示す形がよい。</p>

注：太字は、会議で合意が得られたと思われる点

「本文」に盛り込むべき内容の整理（第2班 2/7版）

全体	<p>条文では「みんなで（誰もが、ともに）」といった表現を盛り込む。</p>
1.	<p>・キーワード：「おもてなし」 来街者など区域を超えた想いなので、他の文案と比較しても特に貴重な視点である。また、台東区歌でも、「おもてなし」の心は特に謳われていないので、第一に表現したい条文である。 「おもてなし」とは、たとえ一期一会であっても来街者を大切に作る心。 住民としては、来訪してくれることが誇りになるので、台東区を見てほしい、楽しんでほしい、また来てほしい。 文例：「おもてなしにより、誰もが居心地の良い場所にします」</p>
2.	<p>・キーワード：「おとなりさん」 日常生活において、世代を超えて、相手の負担をやわらげようとする心（おもいやり、おせっかい）を表現したい。 文例：「苦しいとき、困ったときには助け合い、楽しいときには喜びをわかちあい、みんな仲良しおとなりさん」</p>
3.	<p>・キーワード：「おもいやり」 「おもいやりのある」といった形で、自分のことよりも、相手のことを先に想う心、気配りのある、福祉の心、助けあい、誰もが暮らせるといったことを表現したい。</p>
4.	<p>・キーワード：「にぎわい」 「にぎわい」という言葉から、「繁栄 経済力 働く喜び 生き甲斐」といったイメージを連想させる条文で表現したい。</p>
5.	<p>・キーワード：「環境を豊かに」 現在、緑が少ないので、「緑豊かで、緑あふれる」といった言葉を表現したい。身近な緑、街路の緑を大切にしていきたい。 緑の「伝承」という意味では、「6」の条文とも関連が深い。</p>
6.	<p>・キーワード：「文化伝承」 「寺社仏閣」、「職人」、「祭」、「先人の知恵」など、有形無形を問わず文化を伝承する心を表現したい。 台東区歌でも謳われている部分もあるが、表現し、口ずさむことで、子どもたちにも再確認させたい。唱和して再確認することを期待したい。 また、文化伝承の範疇には教育の観点も含めていきたい。 文例：「有形・無形の文化を次の世代に伝承していきます」（もう少しやわらかく）</p>
結び	<p>キーワード：「にぎわい いきいき したまち 台東」 本文と一行あけて、結びをつくるとよいのではないかと。その際、基本構想で用いられているキャッチフレーズは上記5条をまとめる言葉として最適である。 「おもてなし、にぎわい にぎわい」「おもいやり、環境を豊かに いきいき」「おとなりさん、文化伝承 したまち」 本文の後に、結びを持つ憲章の例としては、旧白根市（新潟県）がある。</p>

注：太字は、特に重要な視点